

富山県小矢部川河口付近で捕獲されたワニガメの記録について

間宮寿頼

富山県自然博物館園ねいの里

939-2632 富山県富山市婦中町吉住 1-1

A record of Alligator snapper (*Macrochelys temminckii*) from Oyabe-river, Toyama Prefecture

Kazuyori Mamiya Toyama outdoor nature museum 1-1 Yoshizumi Futyu-machi Toyama, Toyama 939-2632, Japan

富山県でのワニガメの捕獲記録としては、2000年に高岡市三女子庄川左岸で捕獲された記録(南部, 2001)があるほか、2001年に富山市(2007, 小林)での記録がある。北アメリカ原産のカミツキガメ科に属し、全国的にも逸出個体が野外で確認されるなど外来生物法では要注意外来生物にリストされている。なお、今回は富山県の小矢部川河口付近で捕獲されたので報告する(図1)。

・ワニガメ(カミツキガメ科)

Macrochelys temminckii

捕獲日 2018年5月27日

捕獲場所 富山県射水市庄西町2丁目小矢部川右岸河口

計測値 背甲長(mm): 505

背甲幅(mm): 385

腹甲幅(mm): 350

尾長(mm): 311

体重(kg): 28.3



図1. ワニガメ1頭(メス)

県内では過去にカミツキガメについては、富山市(草間ら, 2017)や高岡市(稲村, 1991、高岡市, 2010・2018)などでの情報があったが、ワニガメについては高岡市や富山市で記録があった。

ワニガメは自然分布域としてアメリカ合衆国南東部で、北日本には定着が不可能と考えられるが(自然環境研究センター, 2008)、2006年に東京都の不忍池、2014年に千葉県の手賀沼でそれぞれ産卵中の雌個体が発見され捕獲されている(楠田ら, 2019)。カミツキガメほど俊敏ではないとしても、アメリカでは本種にかまれて指を失った人がいる(矢部, 2003)など、注意が必要な種である。

本事例では釣り人が岸壁の近くをカメが泳いでいたため、釣り人が陸に引っ張り上げたとのことであった(図2)。



図2. 捕獲現場

謝辞

小矢部川におけるワニガメの情報に関しては、射水市市民生活部環境課林原氏に情報をいただき、深く感謝申し上げます。

引用文献

- ・南部久男. 2001. 富山県庄川で捕獲されたワニガメ. 富山市科学文化センター研究報告 24:89-90
- ・小林頼太. 2007. 日本におけるカミツキガメおよびワニガメの定着菊園生: 新聞記事を用いた外来ペットの逸出モニタリング. 爬虫・両棲類学会報 2007 (2) :101-110
- ・稲村修. 1991. 富山県における外国原産の両生類・爬虫類・魚類について. 魚津水族館年報 (1) : 32-42
- ・草間 啓・不破光大・稲村 修. 2018. 富山市婦中町で確認されたカミツキガメ 富山県生物学会誌 2018 No57 : 89
- ・井上信夫. 2019. 越後平野の淡水カメ類・・・生息実態と保護管理について 平成 29 年度新潟市潟環境研究所研究成果報告書 : 26-45
- ・楠田哲士・向井貴彦・田上正隆・田村ユカ・矢部隆・説田健一. 2019. 岐阜県内における外来の淡水生および陸生のカメ類の発見記録 (2007~2018 年). 岐阜県博物館研究調査報告 第 39 号 : 15-20
- ・矢部 隆. 2003. 外来カメが変える水問題ー外来種が引き起こす諸問題ー. 愛知学泉大学コミュニティ政策研究 (5) :3-19